

平成24年(2012年)8月1日発行

〈第 62 号〉

す なんこく 市議会だより



平成24年

8月

今号の主な内容

●P2~3

《6月定例市議会(第361回)》

- ・12議案を可決、同意
- ・陳情1件を採択
- ・議員発議の意見書等4件を可決

《主な可決議案》

- ・24年度一般会計補正予算
 - ・課の設置に関する条例の一部改正
 - ・印鑑条例の一部改正
 - ・香南斎場組合を組織する地方公共団体の数の増加及び香南斎場組合規約の変更
 - ・固定資産評価審査委員会委員の選任の同意
 - ・人権擁護委員の推薦
- 《永年勤続議員表彰》
- ・四国市議会議長会
 - ・全国市議会議長会

●P4~10

《一般質問》18名の議員が登壇

- 西本、前田、高木、村田、中山、西原、土居(篤)、今西、浜田(勉)、土居(恒)、岩松、福田、西川、田中、竹内、岡崎、山中、浜田(和)

《議決結果一覧》

●P11

《常任委員会行政視察レポート》

●P12

《変わる南国市④》

- ・高知黒潮若者サポートステーション 南国サテライト
- 《議会日誌》
- ・4~6月の市議会の動き
- 《編集後記》

発行／南国市議会
編集／市議会だより編集委員会
南国市大堀甲2301
TEL&FAX 088-864-3281
E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

第361回

6月定例市議会

津波対策で過去最大規模の6月補正予算を可決

南海地震対策調査特別委員会を新設



6月定例市議会は、6月8日から21日までの14日間の会期で開かれました。
本定例会では、市長提出の議案12件、報告3件、陳情1件、議員発議の意見書等6件を審議。
平成24年度一般会計補正予算など12議案を可決・同意し、陳情1件を採択、意見書等4件を可決しました。

6月定例会初日の8日、市長から、超巨大地震や津波を念頭に置き、地震・津波対策のさらなる向上を目指し、迅速な情報の共有、津波避難場所の設定や見直し作業を進め、市民の皆様の生命と財産を守るための対策を進めていくことや、各課の主要課題について市政報告がありました。続いて、本年度一般会計補正予算など提出議案12件と報告2件について提案理由の説明が行われました。

南海地震対策調査特別委員会

(◎委員長、○副委員長、委員数10名)

◎浜田 和子	○西岡 照夫
田中 徹	西本 良平
高木 正平	中山 研心
前田 学浩	岡崎 純男
浜田 勉	福田佐和子



教育行政、保健・福祉行政などについて質問を行いました。
18日には、提出された12議案に対して質疑が行われました。その後、人事案件3件を採決し、残余議案と陳情1件を所管の常任委員会に付託し、19日には、各常任委員会で付託議案等が審査されました。

最終日の21日には、各常任委員長の報告、採決が行われ、1件が修正可決、その他の8議案はいずれも原案のとおり可決され、陳情「南海大地震に備えて、防災・減災・復興に女性の視点を入れることを求めることについて」を採択としました。

最後に、議員から意見書等6件が提出され、採決の結果、「南海地震対策調査特別委員会設置に関する決議」「地方財政の充実・強化を求める意見書」など4件を全会一致で可決、「女性の政治参加をはばむ衆議院比例定数の削減に反対する意見書」など2件を賛成少数で否決し、閉会しました。

◆主な可決議案◆

(議決結果は10ページ)

議案第1号

一般会計補正予算

補正予算規模は8億8千620万円の増額計上。主な歳出は次の通り。

▽総務費関係：戸籍情報システム更新等に係る電子自治体推進事業費、サーバ仮想化環境構築等に係る中央・四国広域事業費

▽農林水産業費関係：農道橋の剥離防止対策に係る市単独農道水路維持管理費、シラス漁業の水揚げ集約化のための実証実験に係る水産業振興育成補助金等事業費

▽商工費関係：空き店舗活用のための補助金に係る商工振興費

▽土木費関係：市道橋の剥離防止対策に係る橋梁新設改良事業費

▽教育費関係：緊急地震速報受信器整備等に係る実践的防災教育推進事業費

▽消防費関係：消防救急

デジタル無線設備購入に係る消防施設費、津波避難施設・防災行政無線整備に係る防災費



議案第2号

課の設置に関する条例の一部改正

市民課の分掌事務について、外国人登録を在留管理制度及び特別永住者制度に改めるものです。

議案第3号

印鑑条例の一部改正

外国人登録原票が廃止され、外国人住民についても住民基本台帳法が適用となるため、外国人を含めた住民の印鑑登録の取り扱いについての規定を改正するものです。

議案第9号

香南斎場組合を組織する地方公共団体の数の増加及び香南斎場組合規約の変更

香南斎場組合に芸西村を加入させること、及びこれに伴い香南斎場組合規約の一部を変更するものです。

議案第10号

固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

佐々木生男氏が6月20日をもって任期満了となるため、引き続き同氏を選任するものです。

議案第11号

人権擁護委員の推薦

澤村正彦氏が9月30日をもって任期満了となるため、引き続き同氏を推薦するものです。

議案第12号

人権擁護委員の推薦

林声子氏が9月30日をもって任期満了となるため、後任に北村義雄氏を推薦するものです。

永年勤続議員表彰

四国市議会議長会・全国市議会議長会定期総会において、本市から次の議員が表彰され、6月議会で伝達式が行われました。

★四国市議会議長会 (敬称略)

《特別表彰》

- 議員24年以上 福田佐和子、西岡照夫、今西忠良
- 議員20年以上 土居篤男、門脇晃 (前議員)
- 議員16年以上 浜田幸男 (前議員)
- 議員12年以上 浜田勉

《一般表彰》

- 議員8年以上 中山研心、竹内克憲、野村新作、西山八郎 (前議員)



★全国市議会議長会 (敬称略)

《特別表彰》

- 議員20年以上 土居篤男、門脇晃 (前議員)

《一般表彰》

- 正・副議長4年以上 浜田幸男 (前議員)

《感謝状》

野村新作、浜田幸男 (前議員)



執行部に問う

一般質問

6月議会では18名の議員が一般質問を行いました。

浸水対策について

山中良成

問 5月10日に県から発表されました浸水予想図では、立田あたりまでの内陸部まで浸水が起るとされています。物部川近くに位置する田村・久枝地域には、高層建築物等がなく避難する場所がありません。どのように考えられていますか。

答 避難タワー以外の避難場所も考えられるので、基本的には浸水しない場所へ逃げることを第1に考えていただきたいと思います。ですが、逃げられる距離は津波到達時間によって左右されるので、高知県が秋ごろに公表予定である到達時間や詳細な浸水予測により、内陸部の対応を検討したいと考えています。それまでも整備中の高知東部自動車道周辺であれば、完成した道路の供用してない場所への避難も有効と考えていますので、緊急時の避難場所として使用さ

せてもらえるよう要望したいと考えています。

命山を安価につくれ

土居篤男

問 建設現場から発生する残土やコンクリート片、アスファルト片などを命山の建設に利用できるようにすべき。コンクリートやアスファルトの再生には金がかかる。無料か格安で命山の建設資材として利用すれば、建設費は安くなるのではないかと

答 現在の法律上、建設残土は廃棄物に当たらないので利用できますが、建設工事に発生するコンクリートやアスファルトの塊は、建設副産物として取り扱われます。これは廃棄物処理法では、産業廃棄物となります。建設リサイクル法では、特定建設資材廃棄物となるので、現在これらはほぼ全量リサイクルされています。現在の法律上で建設副産物や震災瓦れきを使用することは困難ですが、今後国の対応等も見

きわめながら検討していきたいと思っています。

重油タンクの対策

土居恒夫

問 津波に備えて営農用重油タンクの流出防止を。ビニールハウスの加温には主に重油を使用しています。重油はタンクに備蓄され、その数は約300基ほど(内陸部を含む)あり、設置状態が不安です。状況把握を急ぎ、津波による流出防止対策を。

答 現在、高知県農業振興部が津波浸水予測地域内の重油ボイラータンク設置場所の調査を農協等を通じて行っています。その調査結果と今後の対応策等についても方針が示されると思いますので、高知県中央東農業振興センター、市内各JAと連携して、津波を含めた地震対策に対応していきたいと考えています。

◇6月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

- 1 **西本良平** ①中山間地域の現状(維持と消滅の危機) ②県の中山間支援の新施策の取り組み ③鳥獣被害対策協議会の今日までの成果と今後 ④交通弱者の足の確保
- 2 **前田学浩** ①南海地震対策(避難所における学校支援地域本部、高台移転、「まず自助」ということの徹底、ソーシャルメディアの活用) ②学力向上(公立高等学校入学選抜の学力検査から)
- 3 **高木正平** ①津波避難タワー建設の場所と数 ②耐震性貯水槽の整備 ③海岸堤防の耐震補強、かさ上げなど関係機関への要望 ④地域の安全に貢献できる防災教育 ⑤「逃げる」を伝える半鐘の設置
- 4 **村田敦子** ①特定健診 ②中学校給食 ③介護保険被保険者証と国民健康保険被保険者証の違い ④介護認定非該当者へのサポート ⑤水源保全(三嶺防鹿ネット設置参加の広報、老朽水道管の布設がえ)
- 5 **中山研心** ①職員定数と民間委託のあり方 ②行政職二表と給食調理員の採用 ③生活保護行政 ④地すべり・がけ崩れ危険箇所の対策 ⑤学校へのヘルメット配備
- 6 **西原勝江** ①災害対策(業務継続計画、橋梁の安全対策、自主防災組織) ②健康行政(精神保健、診療明細) ③子育て練習講座 ④文化財(岡豊城跡保存管理計画、災害対策、文化財の紹介を広報で)
- 7 **土居篤男** ①津波被害を避ける移転に都計法の規制緩和を ②建設残土使用で命山建設を ③伊方原発再運転はすべきでない
- 8 **今西忠良** ①公共交通(移動手段としての交通をどうとらえるか、生活交通ネットワーク計画) ②南国市地域福祉計画(目指すものと事業展開) ③防災教育 ④交通安全教育 ⑤体育のダンス必修化
- 9 **浜田 勉** ①津波避難所に預ける命、そこまで行き

事前復興計画

田中 徹

問 先日、被災地宮城県に約 2 週間滞在し、教訓や課題など多くのことを学んできた。被害を最小限にするためには事前の備えが重要であり、防災元年と位置付けた今こそ事前復興計画など将来のビジョンを描くべきだと考える。このことについて市の考えをお聞きます。

答 南海地震に備えた事前復興計画の策定も大変重要な課題であると思います。地震対策を進めるに当たり、市民の命を守るという最も重要な対策を進める上で、今議会でも多くの議員の皆様から貴重な御提言をいただいています。それらも参考にさせていただきながら本市の将来像を定め、その位置づけに向けての基本計画である総合計画、そしてそれに基づいての土地利用を含むまちづくりの基本計画である都市計画マスタープラン、こう

いった計画の見直しも、慎重に検討していきたいと考えています。

海岸堤防の補強

高木 正平

問 東日本大震災により、姉妹都市岩沼市の海岸を襲った津波は海岸堤防を壊滅させ、沿岸部では多くの犠牲者が出ました。地震の揺れに強い海岸堤防を構築するため、耐震補強など、関係機関へ要望し、減災対策の実施についてお聞きます。

答 高知県海岸保全基本計画には、「南海地震の津波による大規模な浸水被害が想定される地域では、津波から人命や財産を守るため、ソフトとハードの両面から防災機能を高める。背後地を防護するため、ソフト、ハード両面を兼ね備えた総合的な津波防災対策の推進を図る」とありますので、5 月 9 日に県議会企画建設委員会へ要望しています。また、7 月 3 日には、直轄高知海岸整

備促進期成同盟会の総会後に国土交通省等を交えての意見交換会が開催されますので、その場でも強く要望したいと思っています。

緊急避難に歩道橋

土居 恒夫

問 十市の坪池地区の緊急避難道・場所が完成しましたが、避難時は坂道を下り、通行量の多い春野赤岡線を渡り、今度は傾斜の急な坂道を登るという、大変危険で過酷な避難が強いられます。早く安全に避難場所へ逃げるために歩道橋の設置を望みます。

答 市として、地元要望を受け、1 月に県中央東土木事務所長に津波避難用の歩道橋設置の要望を提出しています。その後設置についての明確な回答はいただいていません。

住宅用地の見直し

前田 学浩

問 震災対策は「まちづくり」の視点が重要です。

高知大学医学部附属病院は、2014 年に建築費約 61 億円で新病棟を建設し、震災時の拠点病院として機能強化。医師が病院の近くに居住し、震災発生時にすぐスタンバイできるよう、南国市として住宅用地の見直しを。

答 広域都市計画マスタープランは、平成 16 年から改定の見直し作業が続けられており、平成 23 年度に基本的な見直し、改定される予定でしたが、3・11 の津波後、多少修正する必要がある、現在県が作業を進めています。基本的に都市計画マスタープラン、県の 4 市合同のマスタープランの位置づけがない中で、南国市が独自に進めること、独自のマスタープランをつくっていくことは非常に難しい状況です。ただ、震災に対応して、細かなことの見直しはされると聞いています。

つくの？ ②市庁舎は耐震工事で大丈夫？ ③鳥獣被害防止特措法の趣旨を生かそう ④農業白書をどう生かすのか ⑤米所得補償を保険方式にするとは

10 土居恒夫 ①地震・津波対策 (1.9 キロリットル重油タンク、学校の非構造部材の耐震化、飲料水備蓄、避難に歩道橋設置を) ②中心市街地 (後免町) のまちづくり ③登下校時の通学路安全点検・対策

11 岩松永治 ①岡豊小学校さくら児童クラブトイレ設置について ②災害発生時の消防団活動 (消防団の備蓄食料、団無線について)

12 福田佐和子 ①原発再稼働について ②防災対策に女性の目を ③ごみの減量について ④制度の谷間におかれた市民への対応 (福祉タクシー、人工肛門、電動車いす、介護施設、母子・父子住宅、保育)

13 西川 潔 ①総合的視点で中山間対策に取り組み ②産業振興計画アクションプラン (食育と地産地消の拡大)

14 田中 徹 ①南海トラフ巨大地震対策 (事前復興計画の必要性、情報発信のあり方) ②学校現場における被災地支援 (姉妹都市岩沼市との継続的な交流)

15 竹内克憲 ①学校給食における食物アレルギー対応 ②農作業事故と労働災害補償

16 岡崎純男 ①金地部落へ上水道布設を早急に ②認知症患者及び家族に対する支援はできているか ③ニート、ひきこもりに対する自立・支援対策の充実を ④被災直後の市民生活の検討・準備が必要

17 山中良成 ①産業経済 (南国市中小企業振興基本条例、南国市中小企業基本対策審議会、製造業提言の場づくり) ②津波・地震対策 (内陸部浸水、標高表示及び避難誘導矢印の設置、火災問題)

18 浜田和子 ①農業行政 (農地・水保全管理) ②障がい者施策 (総合支援法、就労支援、手話通訳者養成、個別防災無線機、防災マニュアル、発達障がい者手帳) ③若者就労支援

執行部に問う

一般質問

18議員が執行部の所信をただす

防災に女性の目を

福田佐和子

問 東日本では、女性みずからも被災者でありながら大変な困難を強いられた。女性の立場を守るだけでなく、日ごろかわっている子ども、高齢者、障害者の視点が入り、きめ細かな防災対策が実現する。早急に防災会議委員に女性を登用すべきだが、何人入るか。

答 今のところ新たな防災会議委員としては、市民の代表という方々3名程度を考えています。

ヘルメットの配備

中山研心

問 行政として発信すべきは「大川小学校のような悲劇は決して起こさない」というメッセージであり、「学校の時間なら子どもは安全」という安心感。すべての学校に児童数のヘルメットの配備を求める。

答 現在、大湊・奈路・白木谷小学校の3校が防災ヘルメットを常備しています。三和小学校は、個人持ちで一部の児童が防災ヘルメットを持参しています。大半の児童が防災ずきんを持参しています。中学校については、防災用のヘルメットは常備していませんが、通学用の自転車ヘルメットを教室へ持ち込むことで代替えとして使用することを考えています。各校とも、防災用ヘルメットの必要性は実感していますが、個人負担となると価格の問題もあります。また、学校内の保管場所

等の問題もありますが、児童・生徒の安全確保のためにも、強度の高い防災ヘルメットの整備について、今後大型のハード対策に見通しをつけ、順次検討して取り組みたいと考えています。

業務継続計画

西原勝江

問 東日本大震災では、津波により、自治体の行政機能が麻痺してしまうところがありました。災害発生時に、優先すべき行政機能を確保し、必要な資源の準備や対応方針、手段を定め、必要な行政サービスが継続できるように、業務継続計画を策定していただきたい。

答 本来、情報を豊富に持っている防災担当の危機管理課が策定すべきであるかもわかりませんが、計画を早期に策定する必要性があることや、災害発生時には市役所全体が防災担当にならなければなりませんので、総務課で策定作業を進めます。

橋梁の安全対策

西原勝江

すべての職場において防災への危機意識を持っていただくよう、危機管理課と連携の上、計画策定へ向けた作業を早期に始めたいと考えています。

問 老朽化した社会資本を事前に補強することは、減災の面からも費用の面から大きな効果があります。市道における橋梁について、特に耐震化が必要な橋梁の対策をお伺いします。

答 橋梁の安全対策については、まず跨線橋、跨道橋、そして緊急輸送道路、緊急避難路、利用度の高い生活道の橋を優先的に実施していきたいと考えています。工法としては、落橋防止対策を考えています。現在、対象の橋梁を橋梁台帳により抽出しており、その後、現地等の調査を実施して設計するわけですが、落橋防止工法はいろんな工法があるので、十分検討

した上で早期に対策を講じていきたいと考えています。

津波避難タワー

高木正平

問 津波避難タワー、避難ビルなど、津波避難対策として、この二年間で行われる建設は、沿岸一帯や浸水が危惧される地域に、逃げられる場所の確保として、その完成が急がれます。具体的な建設についてお聞きします。

答 命山構想では、津波避難タワー14基、津波避難ビル2棟、そのほか避難路、避難場所約22カ所、避難誘導灯115基などを計画しています。平成24年度中の津波避難タワーの完成のめどは、当初予算で3基、6月補正予算で4基を計画しています。25年度完成のめどは、現時点で申し上げることはできませんが、最大限用地買収や実施設計を進めて、工事発注ができるように取り組んでいきたいと考えています。

情報発信のあり方

田中徹

問 3月31日には国から震度分布や津波高、5月10日には県から津波浸水予測が公表された。引き続き、国、県の被害想定公表が予定されている。正確な情報を把握してもらうための施策が必要と考える。今後の情報発信について、お伺いする。

答 市民に説明を行う際には、言葉だけでなく、資料や図を使用して視覚的にもわかりやすい方法で説明をしています。今後も国、県の発表が続く予定ですので、正確な情報の伝達に努めるとともに、この機会を通じて、数字に恐れることなく正確に認識してもらい、正しく恐れることの大切さや自助の必要性について気づいてもらい、各家庭で備えていくことの大切さを説いていきます。

消防団の備蓄食料

岩松永治

問 現在、南国市の各消防団には、備蓄食料がありません。震災等の災害発生時に救助支援活動をしていく上で、水と非常食があれば現場で救助者に与えることもでき、有効と思われれます。今後、各消防団所への食料備蓄を考えていただけないでしょうか。

答 消防団員の食料備蓄については、早速消防団幹部とも協議を行い、必要ということになれば、セット内容や備蓄数量など具体的な検討も進めていきたいと考えています。

都計法改正を

土居篤男

問 津波浸水を避ける住居移転に対し、現在は高台に自主的移転をしようにも、調整区域で開発ができない。市街化調整区域の開発制限を緩和するよう求める。

答 現行の法律を単純に

規制緩和することではないですが、少なくとも国が示す津波予測に対応するための防災対策、あるいは個人の生存権を守るという視点からの特例的な一定の規制緩和は必要だと思えますので、市長会等を通じて要望していきたいと考えています。

地震・家・山・命

浜田 勉

問 南海地震。高所へ逃げろ。日常会話が大切。揺れや倒壊が心配。元気で避難所へ行けるか。耐震調査はどうか。シェルターと耐震工事のセットに助成があれば、大きく安全が広がる！避難所の山道は登れるか。橋の具合は大丈夫。近所づき合いが大切。

答 現在南国市は国、県の支援を受け、旧耐震法による木造住宅の耐震診断に対して補助し、さらに耐震診断の評点が1.0以下の住宅に対しては、耐震補強設計工事にも補助しています。耐震シエル

ターについては、建物と一体となった構造であれば補助対象になりますが、設置タイプのものは補助対象になっていません。

学力向上について

前田学浩

問 県教委の公立高入学検査の分析において、数学の平均点が他の教科に比べ、はるかに低い。小中連携学力向上プロジェクトの成果は、数学の点数を見ればわかる。積み重ねの教科である数学においては、小学校の中学年での四則演算の習得の強化をするように求める。

答 現在、すべての小中学校で学力調査等で評定1の児童・生徒を引き上げ、評定1の児童・生徒を減らしていくことを目指し、小中連携した取り組みを全力で行っています。最終的には、評定1の児童・生徒をゼロにすることを目標に、教育委員会としても、学校、家庭、地域と連携を図りながら取り組みを進めたい

交通安全教育

今西忠良

問 学校における交通安全教育は、学習指導要領等に基づき、保健・体育や特別活動などを中心に学校教育活動全体を通じて実施することが求められています。学校における交通安全教育は、どのように取り組まれているのでしょうか、お伺いします。

答 毎年春と秋に南国市交通安全市民会議と連携して、児童を対象にした交通安全教室を実施しています。これは横断歩道の渡り方や自転車の乗り方など、交通ルールを徹底する取り組みを行うもので、ことしも小中学校全校で交通安全教室を行う予定です。

製造業の話し合い

山中良成

問 以前、12月議会で製造業の話し合いの場を設けると答弁をいただきました

したが、取り組みや対応がなされた気配がありません。本市も心して応援していかなければならない分野だと考えています。現在の、その具体的な取り組み計画は、どのようになっていますか。

答 市としては、情報共有とともに企業BCP（事業継続計画）についても協議したいと考えていますが、市としてできることは限りがあり、市として何ができるか、何をすべきかを明確にしないと、高知県工業会に迷惑をかけたり、単なる懇親会になってしまふ、と危惧しています。そのため、当初全体に声をかけて開催を考えていました。が、まず旧南国工業会の歴代会長などに集まっていただき、相談から始めていきたいと考えています。

ごみの減量化へ

福田佐和子

問 分別収集による減量化で、次期建てかえの焼却

炉は小型化され、財政負担を軽くする方向だったが、最近焼却ごみが増えている。減量対策の職員をおき、分別の徹底、粗大ごみ、トレー、雑紙の収集方法など、市民の協力を得て減量化を目指すべき。減量化対策を聞く。

答 ごみの減量化は、市民の皆さんへの徹底した啓発、そして市民の皆さんの積極的な協力がなくてはできないと考えています。そのため、地域で学習会を開催したいなどの依頼があれば講師の派遣を、また地区環境委員会や環境委員連合会が開催しているごみ処理施設の見学研修などに協力しています。今後は待ちの姿勢ではなく、地区環境委員会や自治会長、公民館長などに学習会や研修の場の開催を積極的に依頼するとともに、市民の皆さんに一人でも多く積極的に協力していただけるよう取り組みを進めたいと考えています。

執行部に問う

一般質問

18議員が執行部の所信をただす

中山間地域の現状

西本良平

問 中山間地域の高齢化はどんどん進み、集落に若者の姿が見えなく、近年集落の姿は大きく変わり、今後の集落維持機能の継続は極めて厳しい状況です。これらを踏まえ、これからの中山間地域対策について、どのように取り組まれるのか、お伺いします。

答 中山間で住み続けることができる環境を整えることが行政の役割だと思います。買い物や通院

などの足の確保、地域にある資源を活用した産業おこし、生活環境を早急に整えることが必要だと思います。こうしたことを皆さんと話し合いながら、中山間地域でも、平場でも、格差のない生活ができるように環境を整えていく覚悟です。この中山間地域における諸問題は、本当に待ったなしの課題であると思っていますので、スピードを持って取り組んでいきます。

交通弱者の足確保

西本良平

問 昨年12月の定例市議会で質問した中山間地域の生活者の足確保の件ですが、生活公共交通会議で検討され、公共交通空白地の解消のため、デマンド方式（予約型）で乗り合いタクシーの運行を計画しているとしているが、その内容について、お聞きます。

答 対象地域は、黒滝地域と上倉・中谷地域の集

落と領石を結ぶもので、10月1日の運行開始を目指して、国土交通省四国運輸局へ申請を行う準備を進めています。運行ルートは、対象地域の各集落から県交通の領石出張所までを結びます。運行日は、月・水・金曜日の週3回、バスの発着時間にあわせて往復各4便の定時運行を行いたいと考えています。運賃は、1回の乗車片道1人500円とし、利用者は事前登録制としたいと考えています。

上倉・瓶岩の対策

西川 潔

問 上倉・瓶岩地区は、市の面積の2分の1を占め、水資源など大切な地域である。ここに暮らす人々の生活を守るために、総合的な調整、推進を図る必要がある。現在の縦割り行政を改めて、中山間対策を横断して担当する部署を設け、基本計画を立てて振興せよ。

答 本市においては、過

疎と高齢化により集落機能の維持が危惧されている中山間地域にとどまらず、町内会組織の存亡が危惧されている市中心部の問題など、市内の集落それぞれの機能をどう維持するのかという問題があります。また、集落機能を維持することが第3次総合計画に掲げる市民との協働を実現していくことにつながっていると思います。したがって、中山間地域対策に特化するのか、地域づくりという視点で全市的な対応を検討するのか、今後機構を含めて庁内体制を検討していきたいと考えています。

地産地消の拡大

西川 潔

問 南国市の産業振興計画で、子どもたちの健康、食育、産業振興のために、地元農産物を学校給食等に供給拡大する取り組みをしている。JANA南国市が今春設立した農業生産法人「南国スタイル」が、その一翼を担うことに

なった。行政の支援をお願いしたい。

答 雇用問題とともに地産地消を掲げてこれまで行ってきた安全で安心で新鮮な地元産野菜の学校給食への供給率を向上させることは、市としての命題だと考えています。そのため、学校教育課、現場の給食調理室、南国スタイルとさらに協議を進め、他県の学校給食の地産地消成功例も参考にしながら配送システムの確立に努めていきます。

農地・水保全管理

浜田和子

問 共同活動支援も5年間の実績や効果に対し、大きく評価ができと思う。23年度から始まった向上活動支援交付金は、24年度以降は23年度の55%に減少している。地域の活動組織のやる気を損ねる結果になると心配する。市として何らかの手立てを求めたい。

答 当事業の財源内訳は、国費2分の1、県費4分

の1、市費4分の1です。事業対象は農業振興地域内の農用地に限定された農地であり、岡豊町、領石、植野、左右山、伊達野等は当事業の対象外です。さらに、来年からの見込みはまだ立たない状況であることも含めて、不足分を市費で交付することは非常に厳しいと言わざるを得ません。

農作業事故の対応

竹内克憲

問 農作業事故は、常に起こる可能性がある。所得補償等の補完が必要。

高齢化も進む中、事故率も高くなってくる。労働災害補償の必要性を問う。

答 農業者が万一のときに救済できる労災保険の特別加入制度の周知と加入を促進していかねばならないと考えています。なぜ県下でJANA南国市しか取り扱っていないのかという当制度の分析、把握から行っていくと考えています。

望ましい中学校給食

村田敦子

問 市の給食は視察が相次いでいる。自校炊飯、地産地消の食育を引き続き中学 3 年間で確立させよ。今、放射能に汚染されていない安全安心な食べ物が求められている。成長期の子どもには、コストより安全な物を求めたい。市の姿勢が問われている。

答 本年度学校教育課内に南国市中学校給食調査研究プロジェクトチームを設置し、調査研究をスタートしています。計画では、24 年度上半期で調査研究を行い、下半期でそれを審議する諮問機関を設置するとともに、パブリックコメント等を実施し、年度末には今後の中学校給食実施に向けた方向性を答申していきたいと考えています。小中学校が連携した食育の実施や地産地消等、また子育て支援や住みやすい地域づくりも含めて、本調

査研究を進めていきたいと思っています。

アレルギー対応は

竹内克憲

問 子どもの食物アレルギーが全国的にも増加傾向にある。学校給食における食物アレルギーの対応の充実を問う。

答 年度当初にアレルギー調査を行うとともに、アレルギー疾患のある児童には、医師の診断書を提出していただき、個別の対応を学校と保護者で協議し、決定しています。個々の料理に含まれるアレルギー物質については、発注、納品時にチェックするとともに、個別に原材料や注意事項などの資料を学校に提供し、アレルギー物質を含む食材等を除去して調理を行うなどの対応をしています。ただ、現状では代替食までには至っていません。

生活保護行政

中山研心

問 生活保護制度に対す

る感情的なバッシングを憂慮している。困窮に至る原因はさまざまであり、扶養義務者に対して画一的な対応はすべきでないと考えるのが所見を問う。

答 扶養義務を厳格化することで、生活保護の適用が必要な方が保護を受けられないような事態あるいは申請をためらうようなことがないように十分な配慮をしていくことが必要であると思います。

要援護者対策

今西忠良

問 南国市地域福祉計画と行動計画における事業展開と計画の推進体制の中で重要な位置づけにある、要援護者台帳に基づく福祉避難所の取り組みについて、お伺いします。

答 3 月 22 日に知的発達障害児・者に対応した 5 カ所、かがみの育成園、ウィッシュかがみの、障害者支援施設白ゆり、ワークセンター第二白ゆり、南海学園の施設を広域福祉避難所として、香南市、

香美市、大豊町とともに 3 カ所の社会福祉法人と協定を締結しました。今後中央東福祉保健所を中心に、広域でマニュアルを検討し、その中で知的発達障害児・者の方の受け入れを決めるシステムを整備していきます。また、重度の身体障害者や高齢者などに特化した福祉避難所についても、圏域内の福祉避難所の整備に取り組み中央東福祉保健所とともに整備を進めていくこととなります。

認知症に支援対策

岡崎純男

問 国の推計では、84 歳以上の 4 人に 1 人が認知症の症状があると言われている。高齢化が進んでいる高知県では、今後認知症高齢者の数が増加していくと予想されます。南国市は、認知症患者や認知症の方がいる家族に対する支援施策の充実を。

答 認知症高齢者を抱える家族の会「えがお」を平成 22 年に立ち上げ、毎

月定例会を開催し、認知症を抱える御家族への支援を地域包括支援センターで行っています。また、認知症の方に対する介護保険でのサービスとしては、グループホームがありますが、現在ほぼ満員状態です。第 5 期の平成 24 年から 26 年度の 3 カ年の間に 1 カ所 18 名分の整備を行う予定です。

特定健診で早期発見

村田敦子

問 生活習慣病は自覚症状がないまま 10 ～ 15 年かけて進み重症化する。脳梗塞で身体が麻痺したり、腎不全となり透析が必要となることは、心身ともに苦痛を伴う。長野市のような 14 枚とじ（スクロップ方式）冊子受診券で受診意欲を喚起し、無料健診の受診勧奨を。

答 受診率向上対策として、特定健診受診券の送付時に、健診への御案内、地域の健康文化都市づくり推進委員会総会時の受診勧奨のお願い、さらに

フェアなど、市民が多く集まるイベントでの特定健診の啓発文書配布、市広報紙などで受診勧奨の呼びかけを行っています。今後も市民の健康づくりに向けた環境づくりや市民啓発に取り組み、健診を受けやすい体制づくりに努めていきたいと思っています。

障がい者就労支援

浜田和子

問 南国市の就学継続支援事業所は A 型 1 カ所、ほか B 型である。B 型の工賃も安い。南国市で A 型事業を増やす、また B 型でも工賃を大きく増やすような目標を持つべきだ。事業所での人材育成等を行政として後押しをしなければならぬ。今後の取り組みを問う。

答 通勤負担が少なく、工賃が高い A 型事業所の増設を望む声があり、新規開設に手を挙げる事業所があれば、本市としてもぜひ支援をしたいと考えています。

執行部に問う

一般質問

18議員が執行部の所信をたず

金地へ上水道布設

岡崎純男

問 金地部落では、冬場になると井戸枯れにより、数軒の家庭が断水で生活に支障を来しています。部落長は、上水道布設の意向調査を実施し、本年3月30日、南国市に56軒の上水道接続同意書を添え、上水道布設要望書を提出。来年の渇水期までに上水道布設を。

答 全域の整備には多大な費用が必要です。今は地震対策が急がれているため、平成24年度は、井

戸枯れしている7世帯の家屋まで約750メートルの緊急布設とします。一部発注を開始しており、来年の渇水期までには完了します。残る箇所については今後布設ルートなどを精査・検討し、年次計画を立てて整備していきたいと考えています。

岡豊小学学童クラブ

岩松永治

問 現在、岡豊小学校さくら学童クラブ施設内にトイレがありません。毎日子どもたちは学童から離れていて、トイレの入りが学童から反対側の場所まで行っている。保護者、指導員ともに危険を感じているので、さくら学童クラブ施設内ヘトイレの設置を求めます。

答 子どもものの学童保育における安全・安心は、非常に大事なことで、非常に大事なことだと思っていますので、予算編成の折に予算の許す範囲で執行していきたいと思っています。

議決結果一覧(4月臨時会、6月定例会)

■4月臨時会(4/23)

◆議案

- 1号・税条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
2号・国民健康保険税条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決

◆報告

- 1号・平成23年度一般会計補正予算の専決処分の承認について……………承認
2号・損害賠償の専決処分の報告について……………報告

■6月定例会(6/8～21)

◆議案

- 1号・平成24年度一般会計補正予算……………全会一致で可決
2号・課の設置に関する条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
3号・印鑑条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
4号・火災予防条例の一部を改正する条例……………全会一致で可決
5号・地域活性化・公共投資基金条例を廃止する条例……………全会一致で可決
6号・人・農地プラン検討委員会設置条例……………全会一致で可決
7号・中小企業振興基本条例……………全会一致で修正可決
8号・消防ポンプ自動車購入契約の締結について……………全会一致で可決
9号・香南斎場組合を組織する地方公共団体の数の増加及び香南斎場組合規約の変更について……………全会一致で可決
10号・固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について……………同意
11号・人権擁護委員の推薦について……………同意
12号・人権擁護委員の推薦について……………同意

◆報告

- 1号・平成23年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について……………報告
2号・平成23年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について……………報告
3号・平成24年度介護保険特別会計補正予算の専決処分の承認について……………承認

◆陳情

- 1号・南海大地震に備えて、防災・減災・復興に女性の視点を入れることを求めることについて……………採択

◆議員提出議案

- 1号・南海地震対策調査特別委員会設置に関する決議(西岡照夫議員ほか9名)……………全会一致で可決
2号・地方財政の充実・強化を求める意見書(中山研心議員ほか19名)……………全会一致で可決
3号・伊方原発の再稼働を行わないことを求める意見書(中山研心議員ほか19名)……………全会一致で可決
4号・住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書(高木正平議員ほか19名)……………全会一致で可決
5号・郵便局のネットワークを維持し、通信と金融のユニバーサルサービスをまもるために
特段の配慮を求める意見書(小笠原治幸議員ほか7名)……………賛成少数で否決
6号・女性の政治参加をはばむ衆議院比例定数の削減に反対する意見書(福田佐和子議員ほか3名)……………賛成少数で否決

会議録は閲覧できます

6月定例会市議会の会議録は、9月上旬以降、市ホームページ(<http://www.city.nankoku.lg.jp>)、議会事務局(市役所5階)のほか、市立図書館で閲覧できます。次回の定例会は9月7日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。

常任委員会行政視察レポート

教育民生常任委員会

長野県長野市・佐久市(5/9～11)

長野市では、特定健診受診率全国上位の取り組みについて説明を受けました。特定健診を3つの方法で実施しています。市内のほとんどの医療機関での施設健診。各地区での集団健診。人間ドック・脳ドックを特定健診に組み入れる。受診率が高いのは医療機関が積極的に健診を勧めることと国保連は見ています。

佐久市では、小中学校給食について説明を受け、北部センターを見学しました。米飯は週3回で米は各地域産の米を使用。食材の地元産の使用率は約60%。センター炊飯とパン業者炊飯があり、センター供給は5カ所で1校が自校給食ですが炊飯は委託しています。



総務常任委員会

仙台空港ビル・宮城県岩沼市・東京都立川市 (5/15～17)

津波被害を受けた地元住民を含め約1,600人が避難生活を送った仙台空港では、自治体との協定、空港の復旧が果たした役割などの説明を受けました。

岩沼市では、現地視察後、岩沼市長初め執行部から「震災復興計画」、多重防御の一環としての「千年希望の丘構想」、沿岸部地域からの集団移転、被災農地対策等、さまざまな内容の説明を受けました。

立川市では、大規模地震発生時に、行政として中断できない業務と非常時優先業務についての対応を定めた「業務継続計画」の説明を受けました。また、立川防災館の施設を見学し、防災行動力を高めるための説明を受けました。



産業建設常任委員会

仙台空港ビル・宮城県岩沼市・亘理町 (5/15～17)

南国市の防災対策等を行政に生かすため、仙台空港では被災状況と防災対策、岩沼市では津波防災対策と津波からの安全なまちづくり、亘理町では農地の被災状況と復旧について行政視察を行いました。

千年規模の津波に対する安全・安心確保として、「減災」を念頭に、防潮堤の整備、防潮林と人工丘の整備、避難道路整備、河川堤防の充実強化、さらに防災無線整備、防災教育の徹底等の多重防御の重要性、また過去の大地震の教訓を生かした防災計画、復興には空港が欠かせないこと。情報伝達方法、被災直後の市民生活等きめ細かく検討・準備が必要なことを学びました。



4月	9日・市政連絡会	議
	10日・高知県市議会議長会総会(高知市)	
	16日・市議会だより編集委員会	
	23日・第360回市議会臨時会	
	24～25日・四国市議会議長会総会(徳島市)	
5月	7日・市政連絡会	会
	8日・行政視察受入(長野県飯山市／農家レストラン「まほろば畑」)	
	9～11日・教育民生常任委員会行政視察(長野県長野市／佐久市)	
	15～17日・総務常任委員会行政視察(宮城県岩沼市／東京都立川市ほか)	
	・産業建設常任委員会行政視察(宮城県岩沼市／亘理町ほか)	
	21日・行政視察受入(北海道浜中町／防災対策)	
	22日・全国市議会議長会理事会(東京)	
	23日・全国市議会議長会総会(東京)	
	24日・市議会議員共済会代議員会(東京)	
	28日・防災研修会	
	29日・全国民間空港所在都市議会協議会総会(東京)	
	4日・市政連絡会	
	5日・行政視察受入(奈良県大和郡山市／食育推進計画)	
	7日・議会運営委員会・行政視察受入(高知県／地震対策)	
	8～21日・第361回市議会定例会	
6月	21日・市議会だより編集委員会	
	27日・行政視察受入(宮崎県川南町／学校給食)	

議

会

日

誌

(4月～6月の議会の動き)



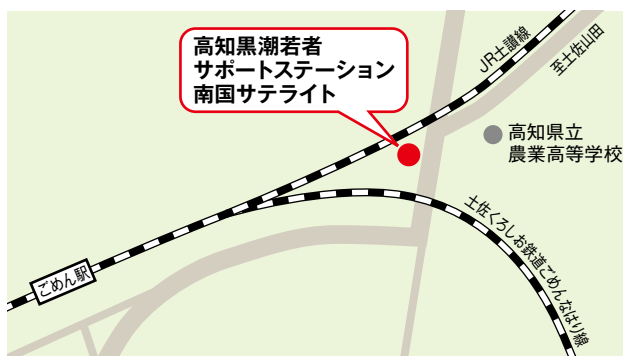
変わる南国市 43

高知黒潮若者サポートステーション 南国サテライト

高知黒潮若者サポートステーション南国サテライトは、「働きたいけど、仕事が決まらない」「学び直すきっかけがほしい」などの悩みを持つ、15歳以上40歳未満の若者とその保護者のための無料相談窓口です。南国サテライトでは、個別相談、進学・復学に向けての学習サポート、就職に向けてのサポート、各種セミナー、体験活動など、個々の課題に合わせた支援計画を立て、若者をサポートします。

開設日時は、火曜日から土曜日(祝日を除く)の午前11時から午後6時までです。

■お問い合わせは
高知黒潮若者サポートステーション南国サテライト(Tel 863・5078)まで



※「変わる南国市」と「なんこく再発見」は毎回どちらかの掲載といたします。

編集後記

6月議会では、津波避難施設や防災行政無線整備に係る防災費約7億円など、約8億8千万円の大規模な補正予算案を審議し、全会一致で可決しました。一般質問では、18名が登壇し、南海地震対策を中心に、多岐にわたる分野について論議しました。また議会としましては、南海地震対策に積極的に取り組むため「南海地震対策調査特別委員会」を設置しました。市民の皆様幅広いご意見やご要望をお聞きしながら、政策提言を行っていきたくと考えております。改選後、約半年がたった今、市民の皆様から「最近、議会が活性化してきた」というご意見をお聞きするようになりました。そのお言葉に甘んじることなく、今後も全力で取り組んでまいります。(田中)

◎市議会だより編集委員会

委員長 中山 研心
副委員長 小笠原 治幸
委員 田中 徹
福西 土 田 小 福西 土 田 小
田原 居 田原 居 田原 居
佐勝 恒 佐勝 恒 佐勝 恒
和江 夫 和江 夫 和江 夫

◆「市議会だより」についてのご意見・ご要望がありましたらお寄せください。